

1 学期始業式 講話

2023.4.6

おはようございます。

いよいよ、令和5年度の始まりです。まずは、元気な様子で登校してくれてありがとう。

昨年度の終業式でお願いしたことでした。

さて、春休みの19日間、皆さんは何をしましたか？私はこの間で特に「この子たち、すごいな！」と感心させられたことがありました。3月下旬に丸亀市のマルタスで開催された「まるがめ地域活性化プランコンテスト」でのことです。新聞記事にもなりましたが、丸亀市の高校生が「行きたくなる丸亀」をテーマに、フィールドワークなどを通じて考案した観光プランを発表するイベントです。本校から3チーム出場しました。残念ながら、最優秀には手が届きませんでしたが、審査員の方からは、アイデアが一番良かったとお褒めの言葉をいただきました。大勢の人を前に、自分たちのプランをプレゼンするのは、緊張感等もあり、中々難しいことですが、本校の3チームの発表は本当に素晴らしかった！正直、私はここまで素晴らしい発表をするとは思っていませんでした。出場した人、ごめんなさい。このイベントを通して、私は改めて、皆さんには素晴らしい力があると認識させられました。様々な体験を通して感じたり、得たりしたものを周囲の人に伝えて行く力、この力はこれからの学校生活において、そして、進学や就職で社会に進出した時に、必ずみなさん自身を救ってくれる力となります。この力を高校卒業までに、また、専攻科修了までに、如何にして身に付けるか、それが大事です。力を手に入れるために、みなさんに心掛けてもらいたいことを3つ伝えます。1：目の前の現実、事実から逃げないこと～色々なことをそのまま素直に認めて受け入れることは、苦しかったり、恐ろしかったりします。でも、そこから目を逸らすと、前には進めません。苦しい時は、誰かに助けを求めることも大切です。2：実情を把握した後、改善に向け一歩踏み出すこと～好ましくない状況を変えるには勇気が必要です。失敗したらどうしようと思ってしまうとできない。よくあります。そんな時には、自分の強い気持ちが最も重要ですが、「ちょっと、どうすればいい？」と周囲の人からもアドバイスをもらえばいいと思います。3：そして、改善することが困難でも、それを諦めずに続けること。これらのことは、人間関係においても、課題に取り組む場合にも当てはまることです。心に留めておいてください。

アメリカ大統領夫人で、世界人権宣言の起草者でもあるエレノア・ルーズベルトは「真摯に勇気を持って人生と向かいあえば、人間は経験を通じて成長します。そうして人格が作られるのです。」という言葉を残しています。令和5年度、みなさんには是非、勇気をもって「諦めずに挑戦」—そんな年にしてもらいたいと思います。



年度末には、「諦めずに挑戦できた」とみなさんが語ってくれることを期待して、始業式の挨拶とします。